

2026年4月15日

各位

会社名 Chordia Therapeutics 株式会社  
代表者名 代表取締役 三宅 洋  
(コード番号：190A 東証グロース市場)  
問合せ先 IR マネージャー 吉良 亜実  
TEL : 03-6661-9543  
MAIL : [info@chorditherapeutics.com](mailto:info@chorditherapeutics.com)

## CTX-177 の医薬品国際一般名称 (INN) 決定のお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社 (本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋) は、当社が開発を進めている MALT1 阻害薬 CTX-177 について、世界保健機関 (WHO：World Health Organization) より、以下の通り、医薬品国際一般名称 (INN：International Nonproprietary Name) が recommended INN (rINN) として公開されましたのでお知らせいたします。

開発コード	医薬品国際一般名称 (INN)
CTX-177	ocipumaltib

国際一般名称 (INN) は、世界共通の医薬品の固有名称で、WHO で審議され、命名されます。医薬品においては、一つの化合物を含む医薬品は複数あることから、一つの物質に一つの標準的名称を与えることは、医薬品に関するコミュニケーションが円滑になることが期待されます。従って、今回当社開発品である CTX-177 に国際一般名称が付与されたことは、商用化に向けた活動がまた一つ前進したものと考えております。

なお、国際一般名称 (INN) が付与された当該開発品目につきましては、開発コードに加えて一般名を併記する予定です。

### MALT1 阻害薬 ocipumaltib (開発コード：CTX-177) について

Ocipumaltib は、リンパ球系の血液細胞において、その細胞内シグナル伝達に関与することが知られている粘膜関連リンパ組織リンパ腫転座タンパク質 1 (Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma translocation protein 1、以下、MALT1) に対する選択的な阻害剤です。MALT1 の活性化は、リンパ球系の血液細胞のがん化に重要であることが報告されており、Ocipumaltib は MALT1 の活性を阻害することにより、これらリンパ球系の血液のがんに対する抗腫瘍効果が期待されます。



## **Chordia Therapeutics 株式会社について**

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 ocipumaltib (CTX-177) に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は当社ウェブサイト (<https://www.chorditherapeutics.com/>) をご覧ください。